

『健康な身体は、健康な食べ物から
健康な食べ物は、健康な土から』
推進します！ ミネラル栽培

ミネラル「枝豆」栽培 スタート
浮金では転作団地
四・二ヘクタール

農業推進協議会において「地域水田農業ビジョン」が策定されました。その中では、飼料作物のデントコーン、稲発酵粗飼料用稲やインゲン、枝豆、葉たばこを振興作物としています。枝豆については重点振興作物として位置づけています。



ミネラル栽培による大規模な枝豆の転作団地（浮金越野地区）

水田で転作物として栽培が可能で、米以上の所得が期待できる作物として新規に取り組みを始めました。基盤整備事業の進む浮金の越野地区で、水田約四・二ヘクタールで栽培が進められています。また、飯豊の三王堂地区の畑で約一・一



J Aで導入した機械による、畝立てとマルチの同時作業（枝豆）

ヘクタールの団地化が図られており、その他の水田、畑を含めて町内で約六・八ヘクタールで枝豆のミネラル栽培が進められています。

収穫は八月月上旬から九月中旬頃の予定です。甘くておいしい枝豆に乞うご期待。

J A 小野町で枝豆栽培関連機械を導入

小野町農業協同組合では、このほど、枝豆栽培に必要な機械を導入し、栽培農家に貸し出して枝豆の産地化に向けて支援しています。

今回導入された機械は、枝豆自動脱莢機、選別機、選別コンベアや、畝立てマルチの機械など。県の園芸畑作等産地強化事業で導入しました。事業費の内

1/2を県が補助、1/4を町が補助しました。機械の導入により、作業の省力化が図られ、産地としての栽培面積の拡大が期待されます。

今年の「インゲン」は全量ミネラル栽培で

昨年はインゲン生産者のうち、三十数名がミネラル栽培に取り組みました。

栽培されたインゲンの生体分析ではマグネシウム、マンガン、亜鉛などのミネラル成分が多く含まれているという結果も出ています。市場の関係者からは、「小野町のインゲンはおいしく、日持ちが良い」との話も聞かれました。

今年も、インゲンの全生産者が春先に土壌診断を済ませ、診断結果に基づく施肥計画によりミネラル栽培に取り組んでいます。

今年も定期的に指導会を開催

町では、農協とともに県の協力を得ながら、研修会並びに指導会を開催していきます。講師には今年も年間を通して猪苗代町の宇川進先生をお願いしました。

六月十一日には第一回目の現

地指導会が行われました。町内六カ所のインゲン畑では、ほとんどの生産者が参加し、現時点でのほ場の管理や栽培のポイントについて指導をいただきました。

インゲンの指導会終了後には、一般野菜の生産者を対象に、町内のトマトやキュウリ、枝豆のミネラル栽培をしているほ場で宇川先生から指導をいただきました。

現地指導会については、栽培状況に合わせて今後も実施していきます。

